

マドリッド



超高層オフィース

チャマルティン駅

© 2009 Europa Technologies
© 2009 Tele Atlas

© 2006 Google

ポインタ 40° 28'35.38" N 3° 41'04.91" W

ストリーミング 100%

上空 1.82 km

1キロ

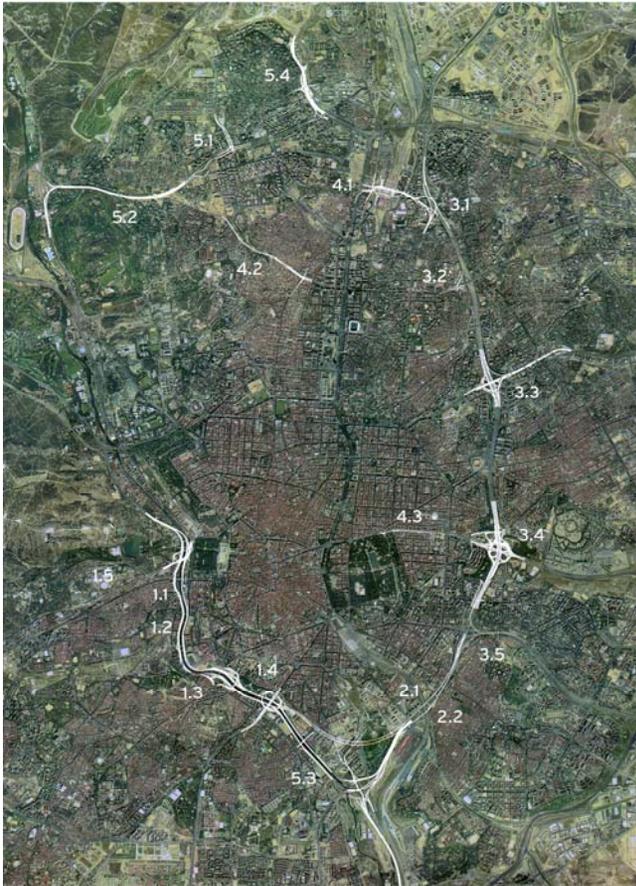


CTBA

Cuatro Torres Business Area(4つのタワーのビジネスエリア)の略。2008年に工事が全て完了し、現在は再開発によって高層ビルが立ち並ぶビジネス街である。チャマルティン駅の西に位置し、以前この場所にはリアル・マドリードの施設があった。トーレ・エスパシオ(236m)、トーレ・デ・クリスタル(249.5m)、トーレ・レプソル(250m)、トーレ・サシヤ・バリエエルモソ(236m)の4つの高層ビルがそびえ立つ。



マドリッドM30



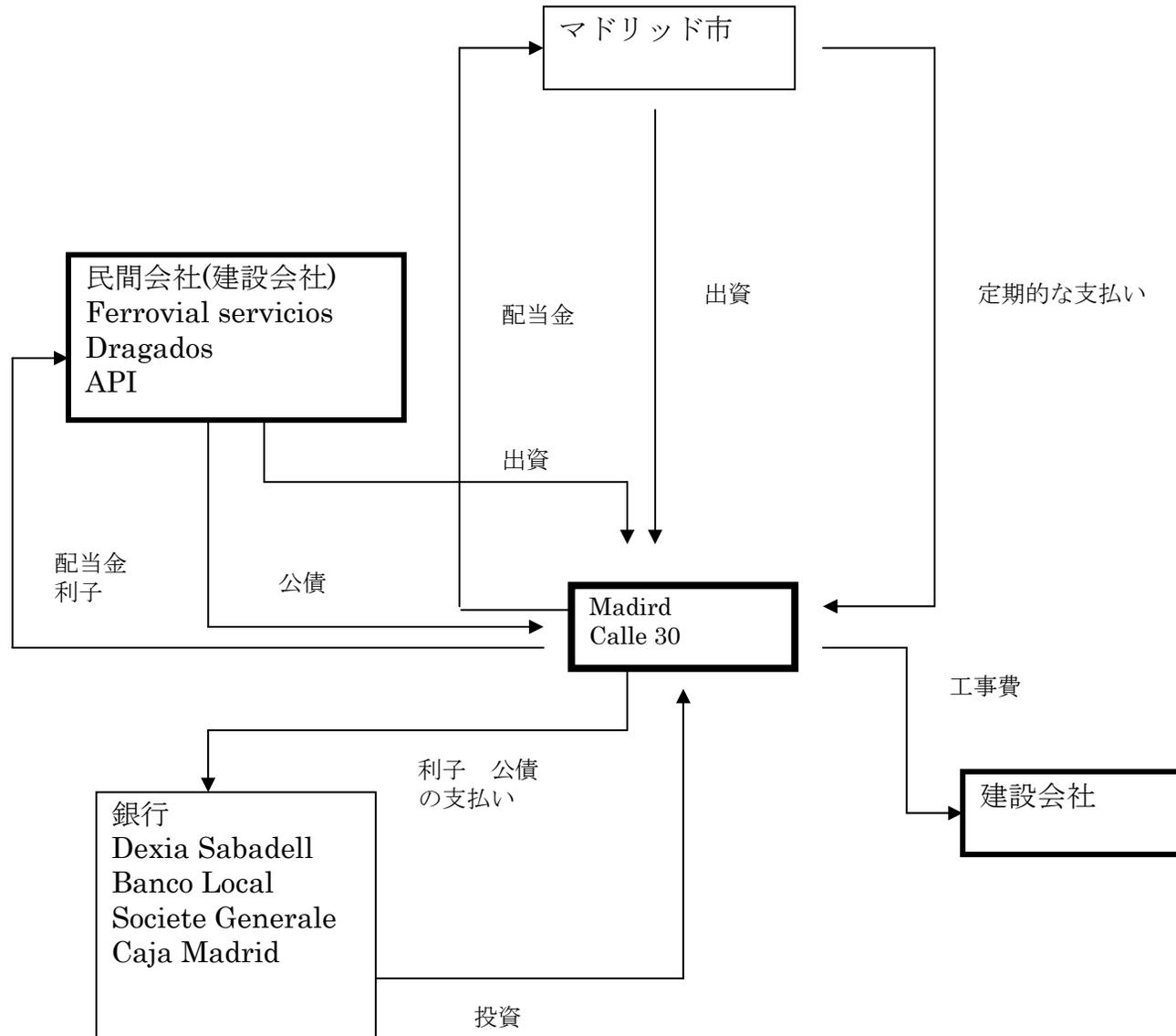
1970年代後半における人口の急増とともに交通問題が顕著となり、高速道路建設が進められた。マドリッド市内を走る延長約35kmの環状道路M30は交通量の増加に伴い、渋滞の慢性化、騒音、排気ガスによる周辺環境の悪化、市街地の分断などが問題となった。その解決に向けて、マドリッド市および民間の共同出資の事業体である「Madrid Calle 30」が設立された。また、マドリッド市街地を貫流する唯一の河川であるマンサナレス川はM30路線で囲まれており、高速の地下化を契機に、親水、景観、自然環境に配慮したマンサナレス川の水辺空間整備のための取り組みが「Projecto Rio」として計画された。

事業効果

項目	価値	コスト
時間短縮	3,915	
交通事故	770	
運用コスト	117	
騒音減	197	
障壁効果	259	
CO2効果	152	
合計	5,410	3,663

2004年
(単位 100万ユーロ)

事業の仕組み





5キロ









